

【栃木県から世界へ！ JICA 海外協力隊】

2022年度3次隊栃木県各自治体への表敬訪問

国際協力機構(JICA)は、来年1月～2月に栃木県から2名のJICA海外協力隊員を2022年度3次隊として派遣いたします。隊員は、任国への出発を前に、下記のとおり栃木県副知事及び市長を表敬訪問いたします。つきましては、貴社媒体にて、栃木県出身のJICAボランティアを県民の皆様にご紹介いただけましたら誠に幸甚です。

1. 表敬訪問日程

(敬称略)

表敬先	日時・場所	表敬者
栃木県 副知事 末永 洋之	2022年12月23日(金) 14:00～14:15 副知事応接室	同県 JICA 海外協力隊員 2名 熊倉 大輔、井上 貴絵
宇都宮市 市長 佐藤 栄一	2022年12月23日(金) 16:10～16:25 市長室	熊倉 大輔
栃木市 市長 大川 秀子	2022年12月22日(木) 13:30～13:45 市長室	井上 貴絵

2. JICA 海外協力隊 リスト

隊員区分	氏名	職種	国名	配属先
青年海外協力隊	くまくら だいすけ 熊倉 大輔	作業療法士	チリ	ラ・エスペランサ地域 リハビリテーションセンター
【活動内容と抱負】 私が協力隊参加に至った動機は、大学生時代に海外の保健福祉事情を知るという内容のもと、2週間の海外(ミャンマー)の短期研修に参加したのが、根強く記憶に残っているためと考えています。実際に現地の病院や施設など見て回りましたが、正直他人ごとだと思っていた、テレビでしか見ていなかった「途上国」といわれる医療の実際の現場をみて、衝撃を受けたことが一番の理由だと思います。 活動内容は、私の職業の作業療法の技術支援に加え、健康予防講座やアクティビティ企画、家族へのケア導入のアドバイスの期待がされているので、任国の地域の方に作業療法について知り、その上でまずは身近な健康予防や介護方法などのセルフケアなどを広げていければと考えています。				
青年海外協力隊	いのうえ きえ 井上 貴絵	コミュニティ 開発	ルワンダ	南部県フイエ郡 キナジセクター事務所
【活動内容と抱負】 長年、カフェを中心とした飲食業で勤める中で、いつでもコーヒーが身近にありました。これから先もコーヒー業界で精進し続けたいと思った時に、そうすると日本にいれば容易に経験できる消費者・販売者の立場だけではなく、生産者・生産国の気持ちや立場もしっかり理解し、学ぶべきなのではないか、と考えたことが協力隊に応募したきっかけです。任国へ派遣された際には、コーヒー農家の人々とともに働き、彼らが置かれている現状や直面している問題を理解すること、そしてそれらを解決するための術を考えることに努めていきたいと思っています。				

3. JICA 海外協力隊とは

JICA 海外協力隊は、日本政府の ODA（政府開発援助）の一環として、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。「開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与」、「異文化社会における相互理解の深化と共生」、「ボランティア経験の社会還元」を目的としています。

日本国籍を持つ 20 歳～69 歳の方が対象となり、派遣期間は原則 2 年間。日本で培った知識や経験を活かし、開発途上国と国際協力の志を持った方々が、現地の人々とともに生活し、草の根レベルで開発途上国の抱える課題の改善・解決に貢献します。

詳細は、JICA 海外協力隊 Web サイトをご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 栃木デスク 熊倉 百合子 TEL : 028-621-0777 (栃木県国際交流協会内) E-mail : jicadpd-desk-tochigiken@jica.go.jp